

正倉院展の 楽しみ方

しまほろばの集いと音楽の調べIN福岡



10月9日(土)
13時30分~15時15分
九州国立博物館
ミュージアムホール

参加無料(定員200名)・要参加証

博覧会種上松笠簀(正倉)

博覧会種上松笠簀(正倉)



種上書簡



河田 真彦

●九州国立博物館学芸部長



河田 真彦

●楽人(演奏者)

岡 規丹氏

●楽人(演奏者)



伎楽面 野狐王

●応募方法 はがき、またはFAX(2人まで)、インターネット(<http://www.yonjuku.co.jp/shosoin/>)で代表者の郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号と同行者の氏名、年齢を明記、9月17日必着。定員200人、代表者に参加証をお送りします。多数の場合は抽選、入場無料。

●お問い合わせ 092-715-8071(住所不明) 福岡県福岡市中央区本町事業部(正倉院展の楽しみ方) 受付 FAX 092-715-8073

【主催】読売新聞社、NHK福岡放送局、(後援)長官直轄博物館、九州国立博物館、福岡県、福岡県教育委員会、福岡市、福岡市教育委員会
【協賛】NTT西日本、北九州放送局、九州海上、九州日本、ダイキン工業、大村ハウス工業、福岡市学館・福岡市立大学、日本生命、白鷺酒店

【お問い合わせ】読売新聞西部本社事業部 TEL 092-715-8071

正倉院展の ～まほろばの集いと音楽の調べIN 福岡～ 楽しみ方

今年の正倉院展は、北倉19件、中倉20件、南倉29件、聖蹟蔵3件の総計71件の宝物が出陣されます。このうち初出陣が14件含まれ、正倉院宝物の全体が鑑賞できるような構成になっています。平城遷都1300年の記念すべき年にふさわしく、平城京に生きた人々の暮らしよりのうかがえる宝物が多数出陣されます。

スケジュール(予定)

13時30分	開演 主催者あいさつ
13時40分	特別講演 河田 貞氏 「東西文化交流の礎、正倉院宝物」 ～東西文化交流の礎、正倉院宝物～
14時30分	休憩(15分)
14時45分	記念公演会 嵯 国良氏 岡 晴丹氏 【演目】①前奏曲 ②夜好月曲 ③二重奏曲 ④藤原朝歌 ⑤乱舞
15時15分	終演



河田 貞氏 (かわた ざかむら)

奈良国立博物館名誉館員、奈良・三宮・奈良県文化財保護審議会委員、早稲田大学院(慶応大学)博士課程修了。センター-奈良館学芸員を経て奈良国立博物館学芸員、学芸研究員、工芸委員・学芸調査員も歴任。他に仏教工芸-正倉院展を担当。1991年調査員、文化庁文化財保護審議会専門委員、香取山大学・前大学院(日本文化)教授、佐川美術館館長代行、審美に「仏教美術の発展」(1983)講義録、「精華」(1995)創社社、「高麗-李朝の織物」(1998)毎日新聞社など。



嵯 国良氏 (せが くによし)

中国東北部遼寧省出身、5歳からピアノに親しみ、17歳の時に音楽院音楽科に入部、21歳でコンサートマスターを務める。昭和61年に音楽文化のために渡日し、長崎国際平和コンサート出演や福岡市民オーケストラ、九州交響楽団との共同演奏を行う。昭和62年に東京でのデビューを果たし、63年には、琵琶音楽協会主催のコンサートに参加するなど、全国300公演で公演を行うほか、テレビ出演など活動範囲を広げている。平成15年には、音楽をはじめとする芸術・文化の振興・普及を通して、日本とアジアの人々の友好を深め、関係を築くため、NPO法人「アジア芸術文化交流協会」を設立。(福岡県文化庁受託、福岡市文化庁受託)

岡 晴丹氏 (おか げいたん) 中国遼寧省遼陽市出身、鋼琴演奏家。

聴講お申し込みFAX用紙

※切り離してFAXでお送りください。

「正倉院展の楽しみ方」の聴講を申し込みます。

※このシート1枚で2人まで受け付けます。

2010年 月 日

※参加費は代講者の方に送付いたします。

代表者氏名				(歳)
住所	〒 -			
連絡先	TEL	-	-	
同行者氏名				(歳)

FAX 送信先 ▶▶▶ 092-715-6079 (読売新聞西日本社事業部)

※お記入いただいた個人情報は、読売新聞東日本社・西日本社・西日本社が、「正倉院展の楽しみ方」の運営のために使用させていただきます。申込書多数の場合は、抽選とさせていただきます。当選後には参加費の発送をもってさせていただきます。無選定額に関する電話でのお問い合わせにはお答えできません。ご了承ください。

第62回 正倉院展

10月23日(土)～11月11日(木)

会場：奈良国立博物館 東新館・西新館 **夜間中興休**

【主催】奈良国立博物館 【特別協力】読売新聞社

特別展 誕生! 中国文明

10月5日(火)～11月28日(日)

会場：九州国立博物館(福岡県太宰府市石坂4-7-2)

【主催】九州国立博物館・福岡県、読売新聞社、FAX読売新聞社、中国河南省文化